

[ 発刊に寄せて ]

公益財団法人  
日本スポーツ協会  
会長

**伊藤 雅俊**



県内各所に歴史的建造物が立ち並び、「越山若水」という言葉に代表されるように、緑豊かな山々、変化に富んだ雄々しい海岸線、美しい海、川、湖に囲まれた、自然豊かなここの福井県において開催された第 73 回国民体育大会は、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、多くの成果と深い感動を残し、盛会裏のうちに、その幕を閉じました。

大会の開催に際し、諸準備にご尽力をいただいた役員、係員、ボランティアの皆さん、大会を応援いただいたすべての福井県民の皆さんに対し、心より感謝を申し上げます。

福井県選手団は、開催地という大きな重圧を受けながらも県民の皆さんの期待に応え、天皇杯、皇后杯を獲得されました。福井県の元気を全国にアピールした選手の皆さんに対し、心から賛辞を贈らせていただきます。

この大会には、国際大会で活躍する多くのトップアスリートが郷土の代表として参加し、各競技とも熱戦が繰り広げられました。

選手の皆さんが全力でプレーする姿は、国民に夢と希望を与え、スポーツの魅力を全国に発信した大会となりました。

全国各地から参加された選手団の皆さんは、福井県の皆さんの心温まるおもてなしと熱い声援を受け、「しあわせ」な時間を過ごし、貴重な思い出を胸に帰郷されたことと思います。

選手の皆さんには、この大会で得た貴重な経験を活かし、より一層の精進を重ねられ、世界レベルの競技会、ひいては東京 2020 大会を目指していただきたいと思います。

そして、生涯を通じてスポーツを愛し、明るく豊かな社会の実現にご協力いただくことを願っております。

終わりに、この報告書が「福井しあわせ元気国体」の貴重な記録として、スポーツの普及・発展に広く活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。

## [ 発刊に寄せて ]

公益財団法人  
日本障がい者スポーツ協会  
会長

# 鳥原 光憲



皇太子殿下、高円宮妃殿下の御臨席を賜り、第 18 回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が、かくも盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。

本大会は、「織りなそう 力と技と美しさ」をスローガンに、選手の皆さまは持てる力と技を出しきり、熱戦を繰り広げ、大変素晴らしい大会となりました。参加された選手の皆さまは、本大会を通じ選手同士の交流や、福井県民の皆さまとの交流も深められたものと思います。選手の皆さまには今後もスポーツを楽しみ、さらに自身の記録、限界に挑戦されることを期待いたします。

大会全般にわたり、ボランティアの方々をはじめ多くの方の温かいお心遣い、ご協力により運営も大変スムーズに進みました。大会にご協力頂きました皆さま、開閉会式や各競技の観戦にお越しいただいた多くの皆さまの熱い思いは選手に伝わるとともに、皆さまの障がい者スポーツへの理解を深めていただくことができたものと確信しております。この熱い気持ちを今後さらに全国へ広げて参りたいと思います。

当協会といたしましては、障がい者スポーツの更なる普及・振興を目指すとともに、東京 2020 パラリンピック競技大会の成功に向けて、目標である「全競技会場満員」「多くの日本代表選手のメダル獲得」の達成に向けた取組みを進めています。そして、このような活動を通して、インクルーシブな社会への変革を促し、当協会が目指している「活力ある共生社会の創造」に最大限努力を続けてまいり所存であります。

終わりに、福井県民の皆さまの心温まるご支援に感謝申し上げますとともに、本大会の開催にあたりご尽力くださいました多くの関係者の皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

そして、多くの思い出に輝く「福井しあわせ元気大会報告書」が、今後、わが国のスポーツの普及・発展に役立つ貴重な資料として活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。

[ 発刊に寄せて ]

文部科学大臣

**柴山 昌彦**



「織りなそう 力と技と美しさ」をスローガンに、豊かな自然の魅力にあふれ、歴史と文化が息づく福井県内各地で実施されました明治 150 年記念 第 73 回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」及び第 18 回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が、多くの成果と感動を残し、成功のうちに閉会しましたことを心からお喜び申し上げます。

これもひとえに、福井県民の皆さんが「しあわせ」を感じ「元気」があふれる大会にするため、県民総参加で諸準備・運営に当たられた賜物であり、その御尽力に深く敬意を表します。

また、参加された選手の皆さんが、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し、福井県内各地で繰り広げられた熱戦の数々により、全国の皆さんへ、大きな感動とスポーツの魅力を届けることができました。

両大会における地元福井県選手団の皆さんは目覚ましい活躍を遂げられました。「福井しあわせ元気国体」では、福井県は天皇杯・皇后杯を獲得し、完全優勝を遂げられました。「福井しあわせ元気大会」では、福井県は県史上最多となるメダル 130 個を獲得され、大会を大いに盛り上げるとともに、今後の障害者スポーツの普及・発展につなげました。

さらに、福井県では、車いすバスケットボール競技を国民体育大会期間中に実施するなど、両大会の融合を推進され、障害の有無にかかわらず、全ての人々がスポーツのすばらしさや感動を共有できる大会となりました。

文部科学省といたしましては、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、スポーツイベント等を通じて、日本全国で機運を盛り上げていくとともに、今大会に出場された選手から、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しております。

結びに、本報告書が、「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」の足跡を示す記録として、また、我が国のスポーツの普及・発展に寄与する貴重な資料として、広く活用されることを祈念し、発刊に寄せる挨拶といたします。